

GREENPEACE

Invitation

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン  
勉強会のご案内  
「国連人権理事会、福島原発事故関連の勧告の意義とは？」  
国際女性デーに、原発事故被害者の女性と子どもの人権を考える  
3月8日(木)11:30-13:00@参議院議員会館 B104 会議室

拝啓

時下、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンは、国際女性デーの3月8日(木)午前 11:30 より参議院議員会館で、国連の対日人権審査で出された東電福島第一原発事故関連の勧告の意義を、人権問題のスペシャリストや事故被害当事者とともに考える勉強会を、報道関係者や国会議員の方々等を対象に開催します。

昨年 11 月、国連人権理事会の普遍的定期的審査(UPR)作業部会で、複数の国連加盟国が日本政府に、区域外避難者を含む被害者への住宅面、経済面、健康面等の支援の継続、許容放射線量を年間 1 ミリシーベルトに戻すこと、帰還に関する意思決定プロセスへの住民参加の促進等を勧告しました。特に女性や子どもの権利の尊重の必要性が強調されています。日本政府は 3 月 16 日に、UPR で出された 217 の人権是正勧告に対し正式に態度表明します。

本勉強会では、スイスで 16 日に行われる人権理事会本会合で、原発事故被害者を代表してスピーチする森松明希子さん(大阪府に母子避難中)も登壇予定です。また、グリーンピースが福島県の飯舘村と浪江町で 2017 年秋に行った最新の放射線調査についても報告し、特に、年間 1 ミリシーベルト基準の勧告について考えます。皆さまご多忙のことと存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具



**開催概要**

日時：2018年3月8日(木) 11:30-13:00 ※開場 11 時 (議員会館入口で通行証を 11 時より配布いたします)

- 11:30 ご挨拶、国連勧告の概要について (グリーンピース)
- 11:40 避難者の現状について、「避難の協同センター」に寄せられる声など (松本徳子氏)
- 11:50 国際人権 NGO として UPR 勧告への見解、国連の人権保障システムについて (伊藤和子氏)
- 12:00 UPR 勧告の原発訴訟への意義 (海渡雄一氏)
- 12:10 グリーンピースの福島県での最新放射線調査結果の報告 (ヤン・ヴァンダ・ブッタ)
- 12:20 避難者の現状について、国連勧告への期待など (森松明希子氏)
- 12:40 質疑応答

場所：参議院議員会館 B104 会議室 (東京都千代田区永田町 2-1-1)

登壇者(スピーチ順)：

- 松本徳子氏：避難の協同センター代表世話人、郡山市から神奈川県に避難中
- 伊藤和子氏：弁護士、国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ事務局長
- 海渡雄一氏：弁護士、脱原発弁護団全国連絡会の共同代表、多くの福島原発訴訟を手がける
- ヤン・ヴァンダ・ブッタ：グリーンピース・ベルギー 放射線防護スペシャリスト
- 森松明希子氏：東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream(サンドリ)代表、原発賠償関西訴訟原告団代表、原発被害者訴訟原告団全国連絡会共同代表、郡山市から大阪府に母子避難中

<本件に関するお問い合わせ>

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン 広報担当 城野 TEL 080-6558-4446(直通)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-13-11 NFビル2F TEL 03-5338-9800

参加申込（締切：3月7日（水））

宛先 Fax: 03-5338-9817  
グリーンピース・ジャパン 広報担当 城野 行

勉強会「国連人権理事会、福島原発事故関連の勧告の意義とは？」  
国際女性デーに、原発事故被害者の女性と子どもの人権を考える

日時：3月8日（木）11:30-13:00（開場 11:00）

場所：参議院議員会館 B104 会議室（東京都千代田区永田町 2-1-1）

- 出席する
- 森松明希子さんへの取材を希望する
- 今回は欠席するが、勉強会資料の送付を希望する

お名前:

---

ご所属:

---

電話番号/メールアドレス:

---

通信欄:ご質問、ご要望などをお書き下さい

<本件に関するお問い合わせ>

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン TEL:03-5338-9800

広報担当 城野千里 TEL:080-6558-4446 Email:chisato.jono@greenpeace.org